

草の根 技術協力事業

JICA 沖縄

JICA 沖縄では、
新たな「絆」の種を探しています。

制度説明・アイデア相談・応募に向けた
コンサルテーションを
随時行っています。

日本 → 世界
約90カ国

沖縄では当たり前
の経験や知識が世界で役立つ。
政府だけでは手が届きにくい
草の根レベルの国際協力

JICA 沖縄
沖縄県浦添市字前田1143-1
Tel. 098-876-6000 (代)
Mail: jicaaic@jica.go.jp
www.jica.go.jp/okinawa
市民参加協力課草の根技術協力事業担当者 まで

次のような要件を満たす プロジェクトです

1

開発途上国の人びとの生活改善や
生計向上に直接役立つこと
(文化交流や調査研究は対象外)

2

ひとを介した「技術協力」であること
(施設建設や資機材供与が中心の活動や、
現地NGOへ資金を渡すだけの事業は対象外)

3

日本人びとの
国際協力に対する理解や参加を
促す機会になること

JICA 草の根技術協力事業とは

日本のNGOやNPO、自治体、大学、企業などが、
これまで培ってきた技術を活かして企画した途上
国への協力活動をご提案いただき、JICAが審査・
採択し支援しながら行う事業です。

日本では今は当たり前になり、一見誰かの役に立
つと気づかないような身近な技術が土台になって
いることがほとんど。

さらに沖縄では「沖縄ならではの〈島嶼性、亜熱
帯性、独自の歴史・文化などに基づく〉経験や知
見」が活かされているものも多いのです。

応募

応募のカタチは3通り

地域活性化型

地方公共団体・関連団体
(地方公共団体推薦のNPO・企業等との連携も可)

- 3年以内
- 総額6,000万円以内

支援型

国際協力の経験が少ないNGO、大学、公益法人、
民間企業の非営利活動等
(国内外の活動実績2年以上)

- 3年以内
- 総額1,000万円以内

パートナー型

国際協力経験が豊富なNGO、大学、公益法人、
民間企業の非営利活動
(開発途上国の地域における国際協力活動実績2年以上)

- 3年以内
- 総額1億円以内

➡ 上記の内容は2022年度の募集内容です。
最新の情報はJICAホームページをご確認ください。

審査

審査で特に大切なポイント

現地のニーズや課題をきちんと把握し、
よく分析できていますか？

相手国の人びとが本当に「変りたい、改善したい」と欲していること
でなければプロジェクトを行う意味はありません。対象地域の人びと
のことをどれだけ知っているか、が問われます。

実施体制は十分？

プロジェクトマネージャーを中心に、現地調整員、各分野の専門家、
国内調整員(経理事務や各種書類作成、調整業務担当)など、チ
ームを組む必要があります。この他、相手国側の活動の受け皿がし
っかりとあるかどうかも重要なポイントです。

プロジェクトの戦略は 課題解決に効果的なものか？

事業のフレームワークは第三者が見ても納得できる論理的な構成に
なっていますか。想いだけが先走って、実現可能性の低い夢物語になっ
ていませんか。プロジェクト終了後の持続性は担保されていますか。

応募から採択まで



アイデア相談

まずはJICA沖縄にご連絡いただき、
事業アイデアが草の根技術協力に
マッチしているかご確認ください。
通年でご相談を受け付けています。

コンサルテーション

草の根技術協力の要件に合
致する事業アイデアにつ
いて、繰り返し応募相談を実施
し案件内容を精査します。数
か月かけて具体的な提案内
容を固めます。



応募

事業提案書類と資格審査書類を提出
いただきます。

約3~5カ月

選考・結果通知

審査コメントとともに審査結果を
通知します。



採択されたら

審査コメントを踏まえた
事業内容の見直し

相手国政府や実施機関からの
了承取付

JICAとの
業務委託契約を締結

プロジェクトスタート

